



子育て支援センターだより

子育て支援センター ☎52 2315

朝晩めっきり寒くなり、日に日に冷え込みが増してきましたね。これから、ますます寒さも厳しくなり、雪も降り始めますので十分な栄養がとれる食事をして、病気になっても負けない体作りをして冬に備えましょう。

9月25日(火)子育て支援センターの事業として「育児講演会」をみなくるにて開催しました。講師は、富良野地区療育推進協議会発達相談員の守屋陽子先生においでいただき、「子どもの育ちと親の関わり」と題して講演をしていただきました。講演では、守屋先生から次のようなお話がありました。

子育てをしていくにあたっては、親の心構えが必要であり、また、子どもの行動・気持ちを親がしっかり見て・受け止めることが大切です。虐待が急増しているのは、自分(親)のリズムに乗ってもらえないもどかしさや夫の協力がなかなか得られないなどの様々な要因が重なり虐待に繋がっていきます。虐待を防ぐ為には自分や人を責めず、家の中だけで処理をしないで身近な人に話を聞いてもらうこと、また、子どもの年齢にそった発達段階などを知ることで子どもの接し方も変わってくるのではないのでしょうか。

現代の子どもは心と体のバランスが崩れており、原因としては夜遅く寝て、朝も遅く起きるといった生活リズムの乱れや、乳児期(0~1歳児)にどうせ解らないから、座って見ているからと早い時期からテレビ(ビデオ)を一日中見せているご家庭も多いのではないのでしょうか。生活リズムが乱れて生活すると心身に関わる成長ホルモンが十分に出ないため心身のバランスが悪くなり、また早いうちからテレビ(ビデオ)を見せていると言語発達や対人関係といったコミュニケーション(人間関係)がうまく築けないといった問題が学童・青年期に生じてきますので、2歳以下のお子さんには、なるべくテレビを見せるのは控えたほうがいいでしょう。

現に最近の学校での子ども達は、授業中におしゃべり・うろうろしてじっと座っていることができない・話を聞けないといった様子で、全体に話しが聞けず自分の聞きたい所だけ聞き、話していても視線が合わず人の顔が見られない集中持続時間は15分が限度で基本的な動きができなく、折り紙が折れないという子もいるのです。

発達障害についても様々な特徴があり、親の育て方だけではなく生まれる前からの要因もあるので、これからは周囲が発達障害などを理解し、サポートしていくことが重要となってきます。

以上のように大変貴重なお話しをしていただきました。

子育てでは、心身共にとてもエネルギーがいることだと思います。困ったことやつらい気持ちは、誰にでもあります。その中で忘れないでほしいことは、育児に疲れていても困っていてもイライラして叱りつけていても、何があっても我が子の心の目から気持ちをそらさないでほしいということです。

つらいこと、困ったことなどありましたらお気軽に支援センターへ遊びに来て、どんどんお話ししてください。

保育所の元気な子ども達

幾寅・金山両保育所では、毎月1回交通安全指導を行っています。各駐在所や交通安全協会の協力をいただき、信号の見方や横断の仕方について教わっています。大型トラックや大型バスが従来する中、子ども達は信号や左右を確認し、手を挙げて緊張しながら、横断しています。



幾寅保育所



金山保育所